

建設産業委員会会議録（要点筆記）

令和6年9月10日（火）
午後 2時 5分 開会

○坂井美穂委員長

ただいまから建設産業委員会を開会します。

決算審査に引き続きのご協議となり、皆さまお疲れのところ大変恐縮ですが、ご協力をお願いします。

協議題1「閉会中の調査事項について」（1）本市の進捗状況について、を行います。本市の現状と課題につきましては、7月16日に実施しました勉強会にて、委員の皆さまと共通認識を持つことができたところですが、建設産業委員会では、これまでに「3R活動の推進」として議会事業評価や閉会中の調査事項「ゼロカーボンシティを目指す第一歩、さらなるごみ減量に向けて」として提言を行っています。これらに対し、環境課にて現時点として検証を行っていただきました。それでは、環境課長から本市の進捗状況について説明をいただきたいと思います。

○太田敦之環境課長

（資料に基づき説明）

委員会中間報告にていただいた提言の1点目、生ごみ処理の循環サイクルの構築については、生ごみ堆肥化容器等の購入に補助金を交付し、家庭での循環サイクルに活用いただくとともに、生ごみが堆肥となる循環サイクルの推進に向け、ホームページや分別冊子、LINEなどで周知を行っています。また、生ごみ処理機で処理した乾燥生ごみは、500gごとにトイレトーパー1ロールと交換する取組みを行っています。今後としては、学校や市民農園等へ提供する取組みについて検討しています。2点目、学校食物残渣ゼロの実現については、給食主任者会議にて残菜が多い献立の味付けなどを調査し、残菜量を少なくなる方法などについて協議の上、次回の献立内容を改善しています。また、残菜をバイオラシックスに搬入し、バイオガス燃料に活用しています。3点目、食品ロス削減に取り組む店舗を協力店として登録する制度の創設については、10月の食品ロス削減月間にあわせ、半田市社会福祉協議会と連携を図りながら、フードドライブに協力いただける店舗や家庭向けに市報で周知を行っています。4点目、市主催のリユース事業を開催し、ごみ減量を推進することについては、「ジモティー」、「おいくら」と協定を結び、リユース活動に向けた取組みを行っています。また、新たなリユース事業の展開として、今後は認知度の高い「メルカリ」との協定締結を計画しているところです。

○坂井美穂委員長

ありがとうございました。説明いただきました内容等につきまして、ご質問はありませんか。

【「なし」との声あり】

ただいま、ご説明をいただきました内容を踏まえ、県外視察では調査を進めてまいりたいと思いますのでよろしくお願いします。

続きまして、（2）質問事項について、を行います。

9月3日付にて委員の皆さまに委員長案をお送りしたところ、追加等のご意見はありませんでした。本日は、当局からいただいた質問事項を朱書きにて追加したものをご案内しております。事前質問事項として、質問数が多いことが懸念されますので、正副委員長にて質問数を整理してお送りしたいと考えております。このことについて、委員の皆さまのご意見を伺いたと思います。

しばらく休憩します。

午後2時10分 休憩

午後2時13分 再開

○坂井美穂委員長

委員会を再開します。

それでは、事前にお送りする質問事項については、正副委員長に質問事項の精査を含め、ご一任いただきたいと思いますと考えますが、よろしいでしょうか。

【「異議なし」との声あり】

ありがとうございます。それでは、そのように進めさせていただきます。

○坂井美穂委員長

続きまして、(3) リモート視察について、を行います。

前回の委員会にてご案内をしました持続可能な航空燃料（SAF）の取組みにつきまして、このたび神奈川県横浜市から受け入れ可能との連絡がありましたので、ご報告させていただきます。1月20日（月）に予定されております建設産業委員会では、10時からリモート勉強会を実施いたしますので、ご予定いただきますようお願いいたします。取組み状況や質問事項につきましては、今後の委員会で行いたいと思いますのでよろしくお願いします。なお、当日につきましては、8月5日に開催しました委員会で、9時30分から当委員会を開催することを決定しております。現時点、提言作成に向けた委員会の開催を予定しておりますので、開催時間につきましては、9時30分とさせていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

続きまして、協議題2「その他」を行います。

その他として、委員から何かありませんか。

【「なし」との声あり】

ないようですので、この件はこれで終了します。

以上で、本日予定しておりました議事は、すべて終了いたしました。本日の委員会は、これにて閉会いたします。

午後2時15分 閉会